

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------|------------|--|
| 事業所番号 | 2971000258 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 蒼隆会 | | |
| 事業所名 | グループホーム すばる | | |
| 所在地 | 奈良県香芝市鎌田157番地1 | | |
| 自己評価作成日 | 令和 1年5月31日 | 評価結果市町村受理日 | |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | www.kaiqokensaku.mhlw.go.jp/29/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2971000258-00&ServiceCd=320&Type= |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-----------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 Nネット |
| 所在地 | 奈良県奈良市高天町48番地6 森田ビル5階 |
| 訪問調査日 | 令和元年6月18日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私たちのグループホームすばるは、二上山・葛城山のふもとにあり、周りには田んぼや畑があり、地域の皆様のご理解・ご協力のもと、毎日9名のご利用者と職員で生活を送っています。同敷地内には、特別養護老人ホームを併設しており、普段よりご利用者同士、職員同士の交流があります。食事面では、3食のご飯やお汁物の準備をご利用者とともにに行い、おかずの準備を厨房よりお願いしている為、栄養バランスの良いお食事を提供出来ております。お料理日には1食全てを献立を考え、スーパーに買い物へ行き、畑で採れる野菜を収穫し、各々が出来る作業を行って頂き、楽しいひと時となっています。日々の日課は決めていない分、時間に追われることなく、ご利用者と職員が寄り添える時間を過ごすことが出来ることを目標に日々取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の建物は、鉄筋コンクリート造りの平屋建てで、1ユニットのグループホームである。居間や居室の床面と外の地面が同じレベルで、居間や居室の掃き出しのガラス戸をあけると、車いすでも自由に入出入りすることができ、完全なバリアフリーの造りになっている。各居室には、洗面台やトイレ、クローゼットが設置されている。お風呂は毎日準備し、希望によって毎日入ることができる。「みんなが笑顔で毎日過ごす家」を目標としており、非常に家庭的で自由な雰囲気がある。利用者や家族の満足度の高い事業所である。また、同じ敷地内に特別養護老人ホームやデイサービス、居宅介護支援事業所などを運営し、全体として地域福祉に貢献している。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

令和

セル内の改行は、(Alt+) + (Enter+)です。

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| .理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 職員と考え、作り上げたグループホームの理念をご利用者書いていただき、職員・家族様が見やすい場所に掲示しています。毎日目視確認することで、実践していただけていると感じます。 | 法人の理念に、地域との連携を謳っている。「みんなが毎日笑顔で過ごす家 すばる」という事業所独自の理念をつくり、利用者の一人が毛筆で書いて玄関に掲げている。職員はその理念に沿って、利用者が毎日楽しく過ごせるよう支援している。 | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | スーパーへの買い物や地域のお祭りに参加するなど、出来ることを継続しております。 | 自治会には加入していないが、地域の清掃活動に参加したり、公民館で行われる夏祭りや、秋祭りのだんじり曳きなどで地域の方と交流している。また、地元ボランティアの方が花壇の手入れに来てくれる。近くの幼稚園の運動会に招待されたり、年3回園児の訪問を受け交流している。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の方々への発信は出来ておらず、地域貢献はまだまだだと感じます。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1度の運営推進会議には、ご家族様、地域の方々、市町村担当者の方にお越しいたいただき、開催出来ています。 | 運営推進会議は2ヶ月に1回、市担当職員、地域包括支援センター職員、民生委員、地域の第三者委員、利用者家族が参加して行われている。会議では運営状況や活動の報告が中心となっている。今後、より多くの家族が参加できるように考えている。 | |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 必要時には連絡をし、相談をさせていただき、ご指導をいただくようにしております。 | 2ヶ月に1回、市役所で市内のグループホームの管理者が参加し研修を受けている。また、市の福祉センターでグループホームの利用者の交流会を行っている。同敷地内の法人の建物は、市の避難所に指定されるなど、市と密接な関係を構築している。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束は今までも行っておらず、今後も行わない方針であります。 | 玄関の扉は昼間施錠せず、利用者が自由に出入りすることができる。また、各居室からも直接外に出ることができる。職員は、新人研修で身体拘束をしないケアについて研修しており、日々の活動の中でも実践している。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待を行ってはいけない、と各職員が認識しており、虐待を行わない風通しの良い職場づくりを心掛けております。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護事業への理解・活用は出来ておらず、不十分だと感じております。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には、ご家族様に丁寧な説明を心掛け、質問などあればお返事させていただいております。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議内でご家族からの意見等があれば、管理者より職員へ伝えるようにしております。 | 管理者や職員は、家族が面会に来られた時に要望などを聴いている。介護計画の更新時にも意見を聴いている。運営推進会議に来られた家族には、積極的に意見を述べてもらってサービスの向上につなげている。 | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員会議で参加する職員より、ご利用者の事やホーム内の意見・提案を伺うように心掛けております。 | 1・2か月に1回、全職員が参加して職員会議を行っており、プライバシーに配慮して利用者も参加する。日々の活動の中で職員は、管理者に気軽に要望などを伝えている。管理者は、職員と個別に面談を行い話を聴くこともある。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 努力したいと思います。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 不十分であると感じます。研修の機会の確保に努めたいと思います。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市内のグループホームの管理者の方、ご利用者の方との交流を行うようにしております。勉強会は出来ておりません。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご入居を考えられている方がおられたら、ホーム内への訪問や体験利用などを通じて、ご利用者に安心していただけるような関係づくりを心掛けている。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様のお話を伺い、私たちのグループホームで出来ることは何か、と一緒に考えていくように心掛けております。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご入所に至る前に、しっかりと話し合いを重ねるように心掛けております。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご利用者同士、ご利用者と職員は、共に支え合う関係である、ということは理解し、実施していただいていると感じます。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご利用者とご家族様、職員が協力できる関係を目指し、日々ケアに当たっています。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 買い物はいつものスーパーに行くことのみで、不十分だと感じます。 | 併設のデイサービスに出かけ、知人と交流している。年賀状のやり取りをしたり、携帯電話で家族と自由に連絡を取り合っている方がいる。すぐ近くに駄菓子屋さんがあり、利用者と出向き馴染みの関係ができつつある。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ご利用者同士の関係を注視し、変化があれば職員同士で情報を共有し、あまり過剰にかかわるのではなく、ご利用者同士の様子を見守るようにしております。 | | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 不十分だと感じますが、契約終了後もご家族様に連絡を取らせていただくようにしております。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 各々のご利用者の想いを汲み取り、ケアに取り入れるように努めております。 | 利用開始時にアセスメントシートを使って、利用者の生活歴と共に趣味や生きがい、好きな食べ物やテレビ番組などを聴き、個別支援に活かしている。日々の生活の中で、飲み物の種類を選んでもらったり、食べたいものを聴いたりしている。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所前はもちろん、入所後もご家族様より様々な情報を伺うようにしております。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ご利用者の言動に注意を払い、ケアに当たるように努めております。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 不十分ではありますが、作成しております。 | 利用者や家族の要望を聴き、「暮らしをよくするための課題」を職員で話し合っ、管理者が介護計画を立てている。利用者の担当職員が、毎月モニタリング結果をまとめ、半年ごとに介護計画を更新している。 | 介護計画の目標やサービス内容の表現が少し抽象的になっており、利用者が笑顔で暮らせるようプラス面からアプローチしたより具体的なプランの作成が望まれる。 |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 各ご利用者のファイルや連絡ノートを活用し、ご利用者の変化や言動を記録するように心掛けております。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご家族様からの要望等あれば、個々のご利用者の状態に合わせ、ケアを行うようにしております。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域資源はあまり活用できておりません。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入所前の主治医に継続して診察をお願いする場合と、当法人嘱託医に変更し、全面的に健康管理をお願いする場合があります。 | 内科の協力医が2週間に1回、訪問診療を行なっている。歯科や皮膚科などは、基本的に家族が付き添って受診している。緊急時には職員が付き添うが、外部ヘルパーが付き添って受診することもある。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師は常駐していませんが、緊急時や医療で困りごとがあると、併設する看護師に指示を仰ぐ、主治医に連絡するようしております。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ご利用者が入院された場合は、入院先の看護師や医療相談員へと連携を取り、入院中も面談へ向うようにしております。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 終末期ケアについてはまだ方針が定まっておりませんが、早急に対応を考えていきたいと思えます。 | 隣接する同法人の特別養護老人ホームでの看取りの事例があるが、事業所としての看取りの事例はない。現在入居されている利用者が事業所内での看取りを希望しているので、今後看取りケアに取り組むことを検討中である。 | 事業所としての見取りの方針を明文化するとともに、看取りの体制を整え、契約書等へ記載し、利用者や家族の要望に応えるための取組みが望まれる。 |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 定期的な応急手当や急変時の初期対応訓練は行えておりません。 | | |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに、地域との協力体制を築いている | 地域との連絡・協力体制を築くことは出来ました。 | 年2回、消防署の立会いのもと避難訓練を実施している。どの居室からも安全に外へ避難することができる構造になっている。職員の緊急連絡網を整備すると共に、自治会や自警団との協力体制も整っている。飲料水や非常食、カセットコンロなどの備蓄を行なっている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 法人理念にも掲げており、日々実践するように心掛けております。 | 居室に入る時は、必ずノックしている。トイレ誘導をする時は、その方だけに聞こえるように近くで声かけしている。利用者の人格や生活歴に配慮し、誇りを損ねないよう配慮している。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご利用者の想いを伺うことが出来るような、ゆったりとした雰囲気作りを心掛けております。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご利用者が自分の思い・希望を行えるように、落ち着いて過ごせるように、日々の日課は決めないようにしております。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 外出時には、化粧をしたり、お気に入りの洋服を着ていただくように配慮しております。日常的に化粧をされている方もおられます。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 毎日の食事やおやつ準備は、ご利用者と共に行うようにしております。 | 食事は隣接する特別養護老人ホームの厨房で調理した主菜と職員手作りのご飯とお味噌汁を提供している。週に1回料理日を設け、利用者の希望を聴きながら昼食を利用者と共に作っている。みんなで外食に出かけるのも楽しみになっている。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分量の把握のため、チェック表をつけたり、ご利用者に応じた食事の量を提供するようしております。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアを実施しております。必要に応じて、義歯洗浄剤を用いております。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | チェック表を使用することで、排泄間隔の把握と誘導を行っております。 | 各居室にトイレが設置されているので、リラックスして排泄することができ、夜間も使いやすい。排泄チェック表をつけ、タイミング良い声かけとトイレ誘導に心掛けて、布パンツとりハビリパンツで対応している。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 下剤に頼らざるを得ないこともありますが、水分の充足と食物繊維や乳酸菌を摂っていただくこともあります。 | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴日には1日お風呂にお入りいただけます。ただ、一人一人の入浴に掛かる時間が違うため、毎日全員の方が入浴出来ない場合もあります。 | お風呂は2・3人入ることができる少し大きめの浴槽で、仕切り板を置いて安全に入浴できるようにしている。毎日お風呂を準備し、利用者の希望に沿って時間帯や順番を決め、入浴介助を行なっている。毎日でもお風呂に入ることができる。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夕食後はそれぞれの時間の過ごし方をされてから、就寝されております。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 内服薬の管理・投薬に至るまで、職員管理とさせていただきます。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ご利用者の状態に合わせて役割をお願いし、レクリエーションでは、個人で対応させていただく場合と集団で行う場合があります。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 自由に戸外に出られますので、ご利用者が戸外に行かれた場合は、付添い、一緒に散歩をしております。ご家族様の協力で、外出される方もおられます。 | 一人で敷地内を散歩する方がいる。近くの駄菓子屋に出かけたり、事業所前の花壇や藤棚のところまで外気浴をしたりしている。職員と一緒にスーパーに買い物に出かけたり、みんなで外食に出かけることがある。「お出かけノート」に、外出したときの記録を残し、次の外出の参考にしている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご自分でお財布を持たれている場合もありますが、基本はご家族様からお預かりしたお金を管理させていただいております。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 自由に出来ます。携帯電話を持たれている方もおられ、電話や手紙のやり取りなどもされております。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご利用者と過ごす共用空間にはご利用者の作品を貼らせていただいたり、中庭では小動物を飼わせていただいたり、採光はまぶしくならないように心掛けております。 | 居間はとても広くゆったりとしている。天窓と吹き抜けの中庭があり、目に優しい間接照明もあって明るい。中庭にはウサギが飼われ、利用者の癒しになっている。居間にはテーブル席だけでなく、カウンター席やソファも置かれ、好きなところで寛ぐことができる。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ご利用者と過ごす共用空間にはご利用者の作品を貼らせていただいたり、共用空間からすべての居室が見渡せるようになっております。 | | |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入所時には、今まで使っておられた家具や身の回りの物をご持参頂くようお願いしており、居室に戻られた際には落ち着いた環境であるように配慮するようにしております。 | 居室には、洗面台、トイレが設置されている。また、大きなクローゼットがあり、すっきり荷物を片付けることができる。居室の吐き出しのガラス戸から、直接外へ出ることができ開放感がある。馴染みのベッドやイス、テレビや仏壇などが置かれ、居心地良い工夫がなされている。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 1人1人の状態や今までされていた動作の継続のため、職員同士の情報共有とご家族様からのお話を大切にしております。 | | |